

関 西 支 部

○IFIP CONGRESS 65 報告会

40年11月2日(火)午後1時から大阪大学工学部メモリアルホールにおいて、電気通信学会関西支部および大阪工業会コンピューター研究会と共催で、去る5月New Yorkで開かれたIFIP CONGRESS 65の出席者による報告会を開催した。おもな講演は下記の通りである。参加者100名。

モンテカルロ法と数値解析(津田孝夫氏), プログラミング言語と情報処理(長尾真氏), Interdata(福永圭之介氏), IFIP 会議雑感(坂井利之氏)

○研究会の報告

システム・ソルビング研究会

Computer and Thoughtにつき、毎月第4水曜日午後5時30分から生産性関西地方本部で行なった。

[9月22日]: 同書の part 2, section 3「A Model of the trust investment process」につき、竹嶋徳明氏(住友化学)が報告。出席者6名。

[10月27日]: part 1, section 4「Summary of a heuristic line balancing procedure」につき、西山氏(神戸商大)が報告。出席者(5名)全員で輪読討議した。

[11月24日]: part 2, section 4「A computer model of elementary social behavior」につき、万代三郎氏(阪大経)が報告した。出席者6名。

[12月22日]: Part 1, Section 6「patterm recognition by machine」につき石田喬也氏(阪大工)が報告した。出席者5名。

数値解析研究会

(12月22日(水)17:30~22:00, 於 大阪科学技術センター, 出席者22名)

「符号板を用いた電子計算機出力自動作図装置」につき白石 彊氏(三菱電機中研)が報告した。(なお今回の研究会は、システム・ソルビング研究会ならびに大阪工業会コンピューター研究会サイエンティフィック・コースと共催された)

会 告

本学会編

電子計算機ハンドブックの優先配布

当学会は、ハンドブックを刊行するため、昭和38年8月に、ハンドブック編集委員会を設置した(会誌 Vol. 5 No. 3, p. 182 参照)。

それ以来、内容とするべき事項を検討し、目次並びにその担当者を次のように決定した。

第1編	基礎理論	後藤以紀
" 2 "	回路および機器	元岡 達, 後藤英一
" 3 "	方式設計	高橋 茂, 西野博二
" 4 "	プログラミング	森口繁一
" 5 "	数値計算	宇野利雄
" 6 "	事務処理	森口繁一
" 7 "	実時間処理	穂坂 衛
" 8 "	アナログおよびハイブリッド	"
" 9 "	関連分野	和田 弘
" 10 "	各種規格	"

執筆者のお協力と、出版のオーム社の努力で、いよいよ来る5月末に発売できることとなった。

A 5判, 1,200 ページで定価は5,000 円。

会員へのサービスとして次号会誌に挿入する振替用紙によるお申込みには7月20日までは

4,000 円(送料300円は別)

で配布できることとなった。この機会を利用して座右に備えられることを切望する。

雑 報

プログラム用言語の夏季講座

NATO 高等研究所の主催で9月5~23日にフランスのVillarad-de-Lansにおいて、プログラム用言語の夏季講座が開催される。Mr. L. Bolliet, Mr. O.J. Dahl, Dr. E.W. Dijkstra, Mr. C. Elgot, Mr. R.W. Floyd および Mr. C.A.R. Hoare の諸氏が講師として英語で話すことに予定されている。

出席を希望される向きは、下記へ問合わせてください。

Mr. F. Genuys
8-11, cité du Retiro
Paris 8, France